

日本・ポーランド国交樹立100周年

記念切手原画展

Exhibition of Postal Stamp commemorating 100 years of diplomatic relationship between Japan and Poland

3,30 zł

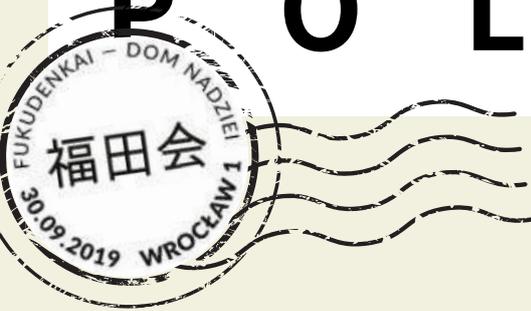
RYS. W. KOSTERSKA

R. STEFANIAK PWPW SA 2019



FUKUDENKAI - DOM NADZIEI

P O L S K A



ポーランドで日本の一施設の名称が
つけられた切手が発行された理由とは…？

答えはぜひ会場にてご確認ください！

2021.4.9 (金) ~ 4.11 (日) 10:30~17:00

切手の博物館 3F スペース1・2



日本・ポーランド国交樹立100周年
(1919 ~ 2019) 記念

主催：社会福祉法人 福田会

協賛：ヴロツワフ美術大学

ポーランド

後援：外務省



日本赤十字社 敦賀市



記念切手制作プロジェクト

2019年9月30日、日本・ポーランド国交樹立100周年を記念し、「福田会—希望の家」と題した記念切手セット（切手・ポストカード・記念封筒）の発行・販売がポーランドにて開始しました。このデザインは、現地の郵政局とヴロツワフ美術大学が企画したコンクールにて募集され、入賞作品が切手、入選作品3点がポストカードとして制作されました。

ポーランドで発行された記念切手

原画作者 Wiktorja Koterska さん
(ヴィクトリア・コステルスカ)

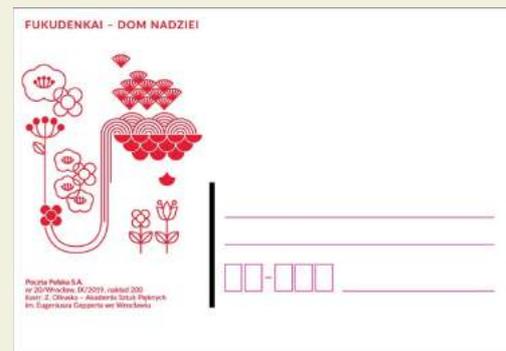
デザイン

- ・日本国旗 日の昇る国=希望を表すシンボル
- ・コウノトリ 幸せを運ぶ鳥としてポーランドで有名な鳥を日本の伝統文化である折り紙と組み合わせて表現

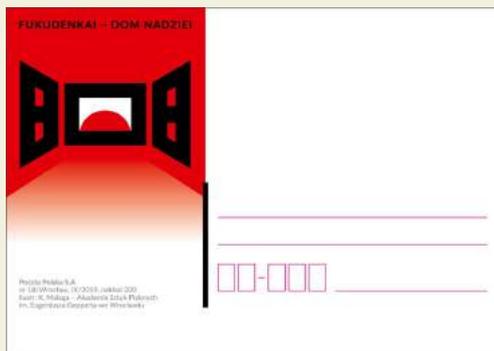


↑発行された切手シート

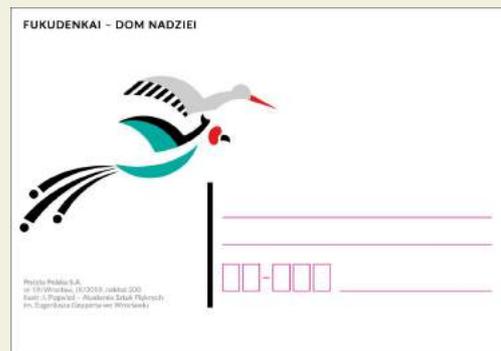
ポストカードに選ばれた作品



原画作者：Zuzanna Olkuszka さん
(ズザンナ・オルクスカ)



原画作者：Kacper Malaga さん
(カツペル・マラガ)



原画作者：Izabella Pogwizd さん
(イザベラ・ポグヴィズト)

本展覧会では、入賞作品（1点）と入選作品（3点）に加え、実際に現地で発行された切手・ポストカード・記念封筒のほか、コンクールでの全応募作品約50点を展示いたします。

これらのデザインはヴロツワフ美術大学の学生によるもので、全ての作品に「福田会（Fukudenkai）」の名前と「希望の家（Dom nadziei）」というフレーズが入っています。

ポーランドでこのような切手が発行された背景として、1920年から数年にわたり、日本がシベリアで孤児となっていたポーランドの子どもたちを受け入れ、そのうち375名が福田会に滞在したという歴史があります。



↑展示作品の一例



シベリア孤児来日100周年

シベリア孤児と呼ばれるポーランドの子どもたちが来日してから、昨年でちょうど100周年を迎えました。どうしてこの子どもたちは日本にやって来ることとなったのでしょうか？

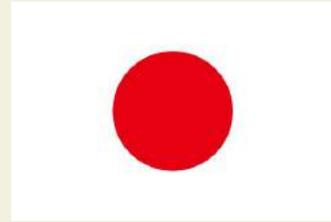
19世紀から20世紀初頭にかけて、革命や内乱の最中に多くのポーランド人がシベリアの地に流れ込み、とりわけ親を亡くした子どもたちは病気や飢えに苦しみ困難な生活を送っていました。

「せめて子どもたちだけでも救いたい」

との思いからポーランド救済委員会が設立、各国へ救済を求める中で日本政府が孤児の受け入れを受諾しました。

1920年7月22日、子どもたちは日本赤十字社の援助のもとでウラジオストクから敦賀港に渡りました。この時、第1陣として日本にやって来た375名が滞在したのが福田会

（当時の福田会育児院）です。1922年まで続いた日本の救済事業により、子ども達は東京や大阪に滞在して健康を回復し、無事に祖国ポーランドへと帰還しました。



↑100年前の福田会斜面での集合写真



↑2019年、ポーランドからアガタ・コルンハウゼル＝ドゥダ大統領夫人が公式訪問された際の様子

社会福祉法人 福田会（ふくでんかい）

1876年に創立し、日本で最初に児童養護施設の運営を開始した、東京の渋谷区広尾にある社会福祉法人です。現在は児童養護施設のほか、福祉型障害児入所施設・高齢者施設等を運営しています。

1920年にシベリアからやって来たポーランドの子どもたち375名は、敦賀から5回に分けて東京へ渡り、福田会にてそれぞれ100日余り生活しました。子どもたちは日本での思い出を胸に本国へと帰還し、この歴史はポーランドで現代にいたるまで多くの人々の間で語り継がれてきました。

福田会には、当時の子どもたちの集合写真と同様の斜面が今もなお残っています。

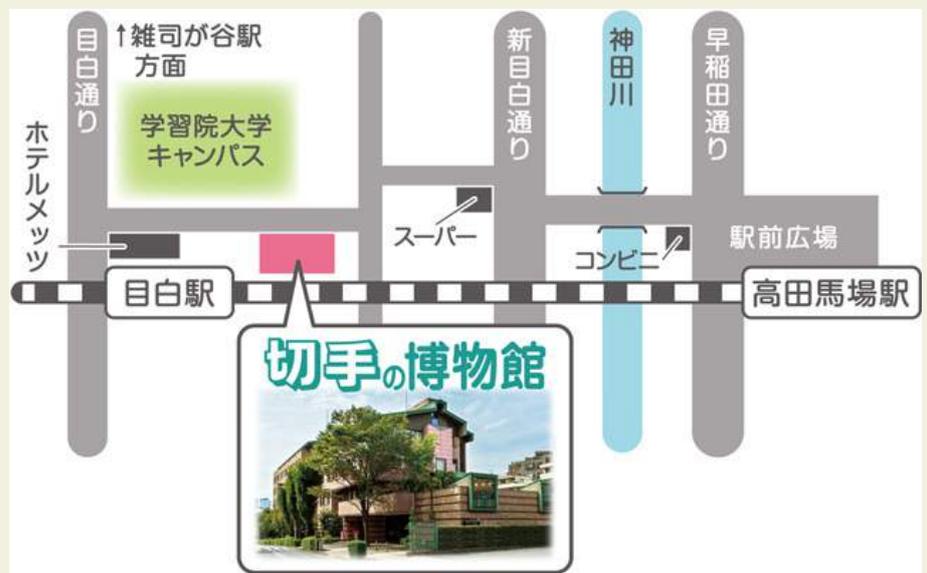
アクセス

切手の博物館

〒171-0031

東京都豊島区目白1-4-23

- ・JR山手線 目白駅 徒歩3分
- ・JR山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線 高田馬場駅 徒歩7分
- ・東京メトロ副都心線 雑司が谷駅 徒歩13分



シベリア孤児番組等の放映

会場内特設ブースにて、シベリア孤児に関する番組のDVDおよび動画を放映いたします。

Youtube動画

制作：Krzysztof Gonciarz 氏
(クシシュトフ・ゴンチャシュ)

「シベリアの子どもたち、どのように日本がポーランド人を救ったのか」



ドキュメンタリー番組

制作：福井テレビ

「100年の絆」

※「未来に伝えたい100年前のニッポン人」ダイジェスト版



記念ピンバッジを先着でプレゼント!

展覧会期間中、ポーランドで発行された切手と同様のデザインで制作した記念ピンバッジを、先着100名様に数量限定でプレゼントいたします。



※お一人様1個、入場時にお渡し

数に限りがございますので、お早めに会場までお越しください!皆様のご来場、お待ちしております。

今後の開催予定

4月20日(火)～5月16日(日) ナガサキピースミュージアム(長崎県)
八戸・神戸・札幌ほかでも開催計画中!詳細は下記ウェブサイトにて随時更新いたします。

お問い合わせ:

社会福祉法人 福田会

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-12

TEL 03-5466-0459 (担当:我妻)

法人HP <http://www.fukudenkai.or.jp/>

展覧会やシベリア孤児に関する情報はこちら <https://siberianchildren.pl/>